

夏の情報教育シンポジウム論文原稿の書式について

立田 ルミ

獨協大学 経済学部 経営学科
〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1-1
e-mail: tatsuta@dokkyo.ac.jp

概要

本稿では、夏の情報教育シンポジウム(SSS2005)の論文原稿の書式について説明します。原稿は A4 紙、ワープロ書きを原則とし、そのままオフセット印刷に出せる品質が要求されます。1 ページの上下左右の余白は 25～25.4mm とします。概要は 1 段、本文は 2 段組で書くことを推奨しています。概要は、300～600 字程度で書いて下さい。本文の各章のタイトルは、少し大き目の文字で目立つように書き、日本語はゴシック、ラテン文字・英字・数字は Arial か Roman を推奨します。また、概要や本文は明朝, Century, Roman を推奨します。

1. はじめに

夏の情報教育シンポジウム(SSS2005)への論文のご応募、ありがとうございます。以下の説明に従って最終原稿を作成して下さいませう、お願い致します。

2. 全体的なこと

必ず、A4 の用紙にワープロを使って作成して下さい。余白は上下左右、25mm～25.4mm(=1 インチ)として下さい。原稿にはページ番号を振らないで下さい。

タイトルは 14 ポイント以上のゴシック体で書き、筆者・所属・住所・連絡先(E-mail アドレスなど)の順に書いて下さい。1 ページ目には概要を必ず付けて下さい。また、1 ページ目左下(脚注部分)には、英文でタイトルと筆者、所属を書いて下さい。特に指定のない部分のフォントは、日本語は明朝、ラテン文字・英字・数字は Century か Roman を推奨します。

3. 書き方

3.1 概要の書き方

概要は 1 段で、300～600 字を目安に書いて下さい。文字のポイント数は本文よりもやや小さ目にして下さい。10 ポイントが推奨です。

3.2 本文の書き方

本文は 10.5～11 ポイント程度のフォントを用い、2 段組で書いて下さい。22 文字×42 行×2 段をおおまかな目安とし、段間は約 2

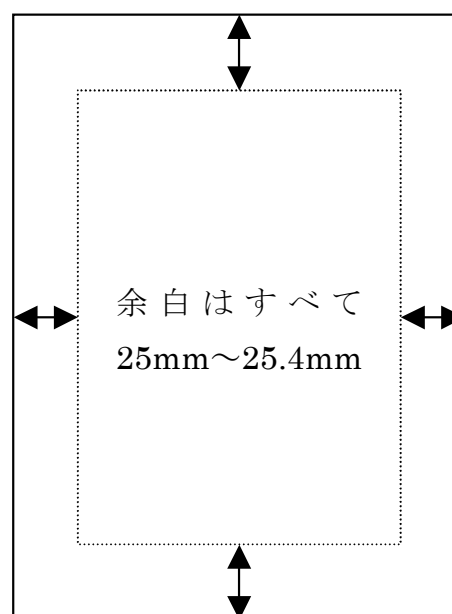


図 1. 余白のサイズ

文字分を空けるようにして下さい。各章のタイトルは、少し大きめのゴシックで目立つように書いて下さい(半角英数字は Arial など)。章立ては「1.はじめに」で始め、適切な章を設け、最後は「*.おわりに」として下さい。「参考文献」も必要に応じて付けて下さい。「索引」「目次」「図目次」などは不要です。

3.3 ページ数とページ番号

フルペーパーは 8 ページ以内(講演と質疑応答あわせて 30 分)、ショートペーパーは 6 ページ以内(講演と質疑応答あわせて 20 分)、デモンストレーションは 2 ページ以内です。なお、ページ番号は付けなくて下さい。

3.4 貼付図表の扱い

図や表には、「図 1 ??の??」「表.3 ??と??の関係」のような表示(キャプション)を記入して下さい。

3.5 当日の発表環境について

当日、会場に用意されている機材はビデオプロジェクタです。論文執筆の際に発表原稿も作成される際は、参考にして下さい。

3.6 著作権の委譲について

お送りくださった原稿の著作権は

情報処理学会著作権規程
<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/chosakuken/>

に従ってお取り扱いします。

4. 提出について

採否通知のメールに記載された方法に従い、2005 年 7 月 16 日(日)までにカメラレディ原稿を提出して下さい。

5. その他

採録された場合には、論文投稿とは別に必ず参加申込みを行なう必要があります。参加申込みが始まりましたら、申込みされますようお願い致します。参加申込みをされない場合は、採録取消しとなりますので、お気をつけてください。

また、プログラム等、SSS2005 に関する情報は、

<http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2005>

で随時公開しています。

ご不明点、ご質問等がございましたら下記連絡先へお寄せください。

sss2005prog@oberon.nagaokaut.ac.jp

6. おわりに

本稿では「夏の情報教育シンポジウム(SSS2005)」の論文執筆上の注意について述べました。北海道でお会いできることを楽しみにしております。

参考文献

- 1) 情報処理学会:「情報処理学会著作権規定」,
<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/chosakuken/>
- 2) 情報処理学会:「情報処理学会論文誌(ジャーナル)」原稿執筆案内,
<http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/shippitsu/shippitu.html>